

平成29年9月13日

輸送動向について（8月分）

1. 輸送概況

今月は、台風5号の接近および静岡地区大雨の影響等により、月全体で高速貨133本、専貨8本が運休となった（前年は、高速貨376本、専貨8本が運休）。

コンテナについては、ドライバー不足を背景に鉄道へのシフトが進んでいる積合せ貨物が、関東・東海・関西発九州向けを中心に好調となったほか、国内自動車販売台数が増加していることから自動車部品も堅調に推移した。また、農産品・青果物は、北海道地区からの今年度産の生野菜・玉葱・馬鈴薯の出荷が旺盛となり前年を上回った。さらに、エコ関連物資では関東内・北海道内での建設発生土輸送等が順調に推移するなど、前年よりも比較的災害が少なかったことにも助けられ、すべての品目で前年を上回ることができた。その結果、コンテナ全体では前年比105.2%となった。

車扱では、石油が配送圏の見直しに伴い鉄道へのシフトが進んだことから、前年を上回った。一方、セメント・石灰石は需要減少等により大幅な減送となったため、車扱全体では前年比96.8%となった。

コンテナ・車扱の合計では、前年比102.7%となった。

2. 輸送実績

（単位：千トン、%）

種別 扱別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,735	1,649	105.2%	9,017	8,736	103.2%
車 扱	685	708	96.8%	3,269	3,222	101.4%
合 計	2,420	2,357	102.7%	12,286	11,958	102.7%

3. 品目別輸送実績表

（単位：千トン、%）

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	156	150	6	103.7%
	化学工業品	161	160	1	100.6%
	化学薬品	113	107	6	105.0%
	食料工業品	297	295	2	100.7%
	紙・パルプ	245	242	3	101.5%
	他工業品	118	110	8	107.9%
	積合せ貨物	224	202	22	111.0%
	自動車部品	61	47	14	127.7%
	家電・情報機器	32	32	0	100.9%
	エコ関連物資	42	36	6	114.6%
	その他	286	267	19	107.2%
	コンテナ計	1,735	1,649	86	105.2%
車 扱	石油	466	457	9	101.9%
	セメント・石灰石	103	131	-28	78.6%
	車 両	69	69	0	99.5%
	その他	48	51	-3	94.1%
	車 扱 計	685	708	-23	96.8%
合 計		2,420	2,357	63	102.7%

（車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値）